

経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX 銘柄)2021」に連続選定
「医・食・住」に関する社会的課題を解決する取り組みが高評価!

株式会社トプコン（本社：東京都板橋区、代表取締役社長：平野 聡）は、このたび経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX 銘柄）2021」に2年連続で選ばれました。

DX 銘柄は、企業価値の向上につながる DX を推進するための仕組みを社内に構築し、デジタル技術を前提としたビジネスモデルそのものの変革及び経営の変革に果敢にチャレンジし続けている企業が選定の対象となります。当社は東京証券取引所の国内上場企業 約 3,700 社（一部、二部、マザーズ、JASDAQ）を対象とした今回の調査で、総合評価点の最も高い企業 28 社に選出されました。

新型コロナウイルス（COVID-19）の拡大は、私たちの働き方やビジネスの進め方を大きく変えました。9 月にはデジタル庁も新設され、ますますビジネスモデルのデジタル変革が推進されていくものと想定されます。

当社は経営理念に『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を掲げ、グローバルマーケットで「医」、「食」、「住」それぞれの分野における社会的課題に対し、DX ソリューションでの解決を推進して参ります。



DX銘柄2021
Digital Transformation

経済産業省発表資料

評価のポイント

株式会社トプコン
(精密機器 / 7732)

「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

DX銘柄2021
Digital Transformation

今回レーダーチャートのある総合的な DX への取組み指標に加え、「住」の事業領域における、3 次元デジタルモデル(バーチャル)と施工現場(リアル)を繋ぎ、建築工事の生産性・品質向上を実現する DX ソリューション、また「食」においては、農機の自動操舵システムや各種生育センサ、ソフトウェアをクラウド型農業マネジメント IoT ソリューションでつなぐ事により実現する「農業・酪農の工場化」への DX ソリューションが評価されました。

当社の事業の取組み

「医」社会的課題：世界的な高齢化に伴う眼疾患の増加
DX ソリューション：眼健診(スクリーニング)の仕組みづくり

「食」社会的課題：世界的な人口増加に伴う食糧不足への懸念
DX ソリューション：「農業の工場化」で営農サイクルを一元管理

「住」社会的課題：世界的なインフラ需要に伴う技能者不足
DX ソリューション：「建設工事の工場化」でワークフローを一元化

経営ビジョンにおけるDXの位置づけ

トプコンの事業領域である「医・食・住」の分野は、それぞれ高齢化や人口増加に伴う社会的課題に直面しており、また大きな産業にもかわらず、IT化や自動化が図られています。これらの社会的課題に対し、トプコンは光学やセンシング、制御技術などの独自技術をベースに、さらに、グローバルな組織体制で、IoTとネットワーク技術を駆使したDXソリューションで解決することを中期経営計画に掲げて取り組んでいます。

トプコンのDXソリューション

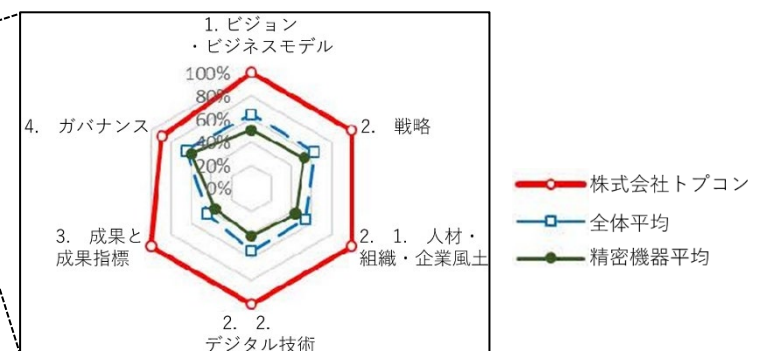
① **建築工事の生産性・品質向上への取り組み**

建築工事では既に設計段階でBIMの導入・普及が進んでいますが、実際の現場では、BIMで作成された3次元デジタルモデル(バーチャル)と施工現場(リアル)を繋ぐためのソリューションがなく、2次元の紙図面に印刷出力して、施工作業が行われているのが実状です。トプコンは、3次元デジタル測量機やレーザースキャナなどのセンシング機器とBIMデータに連携するソフトウェアを開発し、断絶しているリアルとバーチャルの間を橋渡しするBIM連携ソリューションにより、「建築工事の工場化」を実現し、省人化、施工品質、生産性の向上を図るDXソリューションを提案します。

② **クラウド型農業マネジメントIoTソリューション**

トラクターの自動操舵システムや各種生育・収穫センサ、施肥設計・酪農用ソフトウェアを活用し「農業・酪農の工場化」を推進しています。TAP(Topcon Agriculture Platform)はクラウドで営農サイクルに関わる機器の制御から、データの収集、分析の上、更なる作業効率化を提案するソフトウェアです。ベンダー間であらゆる農機やシステムとも接続可能であり、世界的な人口増加に伴う食糧不足への懸念を解決するDXソリューションとなります。

DX調査2021-達成状況



(ご参考)

- 経済産業省 ニュースリリース：「DX 銘柄 2020」「DX 注目企業 2021」を選定しました

<https://www.meti.go.jp/press/2021/06/20210607003/20210607003.html>



- 東京証券取引所 マーケットニュース：「デジタルトランスフォーメーション銘柄 2021」の公表について

<https://www.jpx.co.jp/news/1120/20210607-01.html>



(参考情報：当社ニュースリリース)

- 経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX 銘柄) 2021」に連続選定(2021年6月7日発行)

<https://www.topcon.co.jp/news/20210607-29484.html>



- 経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄 (DX 銘柄) 2020」に選定

<https://www.topcon.co.jp/news/20200825-28310.html>



- 経済産業省が定める「DX 認定事業者」に選定

<https://www.topcon.co.jp/news/20210519-29401.html>



*DX : Digital Transformation

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

【株式会社トプコン概要】

代表者	: 代表取締役社長 平野 聡
設立	: 1932年9月1日
資本金	: 16,680百万円 (2021年3月末現在)
売上高	: (連結) 137,247百万円 (2021年3月期)
上場証券取引所	: 東京証券取引所第一部(証券コード: 7732)
社員数	: (連結) 4,955名 (2021年3月末現在)
事業内容	: ポジショニング (GNSS、マシンコントロールシステム、精密農業)、スマートインフラ (測量機器、3次元計測)、アイケア(眼科用検査・診断・治療機器、眼科用ネットワークシステム、眼鏡店向け機器)、等の製造・販売
URL	: https://www.topcon.co.jp/



株式会社トプコン 広報・IR 室

〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町 75-1 TEL:03-3558-2568

「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

経営ビジョンにおけるDXの位置づけ

トプコンの事業領域である『医・食・住』の分野は、それぞれ高齢化や人口増加等に伴う社会的課題に直面しており、また大きな産業にもかかわらず、IT化や自動化が遅れています。これらの社会的課題に対し、トプコンは光学やセンシング・制御技術などの独自技術をベースに、さらに、グローバルな組織体制で、IoTとネットワーク技術を駆使したDXソリューションで解決することを中期経営計画に掲げて取り組んでいます。

医 (ヘルスケア)
世界的な高齢化に伴う眼疾患の増加

眼健診の仕組づくり → 早期発見 早期治療

遠隔診断 (TOPCON) | 自動診断 (TOPCON)

眼鏡チェーン店 | 介護施設 | ドラッグストア | かかりつけ医

健康(スクリーニング) | 治療・診断 | 予後管理

眼科以外でスクリーニング検査が可能に

食 (農業)
世界的な人口増加に伴う食料不足への懸念

農業の工場化 → 生産性向上 品質向上

計画 | 種まき | 育成 | 収穫

農機の自動運転やデータの一元管理

住 (建設)
世界的なインフラ受領に伴う技能者の不足

建設工事の工場化 → 生産性向上 人手不足解消

測量 | 設計 | 施工 | 検査

建設工事のワークフローの一元化

トプコンのDXソリューション

① 建築工事の生産性・品質向上への取り組み

建築工事では既に設計段階でBIMの導入・普及が進んでいますが、実際の現場では、BIMで作成された3次元デジタルモデル(バーチャル)と施工現場(リアル)を繋ぐためのソリューションがなく、2次元の紙図面に印刷出力して、施工作业が行われているのが実状です。

トプコンは、3次元デジタル測量機やレーザースキャナーなどのセンシング機器とBIMデータに連携するソフトウェアを開発し、断絶しているリアルとバーチャルの間を橋渡しするBIM連携ソリューションにより、「建築工事の工場化」を実現し、省人化、施工品質、生産性の向上を図るDXソリューションを提案します。

住 (Infrastructure)

建築工事のデジタルツイン

バーチャルとリアルの溝を埋めるため位置データで紐づけ循環させる

施工現場での位置決め | 位置データを循環 | 3次元測量機

バーチャルモデル (BIMデータ) | 施工検査/管理 | リアル (施工現場)

センシング機器とソフトウェアで橋渡し

② クラウド型農業マネジメントIoTソリューション

トラクターの自動操舵システムや各種生育・収量センサ、施肥設計・酪農用ソフトウェアを活用し「農業・酪農の工場化」を推進しています。

TAP(Topcon Agriculture Platform)はクラウドで営農サイクルに関わる

機器の制御から、データの収集、分析の上、更なる作業効率化を提案するソフトウェアです。

ベンダーフリーであらゆる農機やシステムとも接続可能であり、世界的な人口増加に伴う食糧不足への懸念を解決するDXソリューションとなります。

食 (Agriculture)

TAP (Topcon Agriculture Platform)

自動操舵システム | データ収集 | 分析・提案

機器制御 | 生育センサ | 可変施肥制御

計画 | 種まき | 育成 | 収穫

DX調査2021・達成状況

